

那覇検疫所平良出張所



平良地方合同庁舎

検疫業務

検疫感染症や国民の健康に重大な影響を及ぼす感染症の侵入を防止するため海外から来航する全ての船舶、航空機に対して検疫を行っております。

● 体温測定・健康状態の確認

発熱症状のある方を確認するため、サーモグラフィーや体温計により入国者の体温測定を実施しています。

空港では検疫ブースにおいて感染症の流行地域からの渡航者の健康状態の確認をしており旅行中あるいは帰国時に健康状態に異状のある方は検疫官に申し出てもらっています。



航空機の検疫



航空機乗客の検疫
(サーモグラフィーによる体温測定)



クルーズ客船の検疫
(写真：宮古島市役所観光商工課提供)

衛生業務

海外で流行する検疫感染症との国内への侵入と蔓延を防止するために船舶により侵入してくる感染症を媒介するねずみ、蚊などの調査を行うと共に港周辺の衛生状態を把握し、常に良好に保つことに努めています。

●ねずみ族調査

港および周辺地域にねずみカゴを設置してねずみを捕獲し、捕獲したねずみは、種の同定ノミの寄生、ペスト菌、腎症候性出血熱等の検査を行っています。



ラットトラップ
(どぶ・くまねずみ捕獲用)



マウストラップ
(はつかねずみ捕獲用)



ケオプスネズミノミ
(ねずみに寄生しペストを媒介するノミ)

●蚊族調査

港および周辺地域においてライトトラップで成虫、オビトラップで幼虫および卵を採集しており、また水溜まりや側溝等の溜まり水をヒシャクやピペットを用いて蚊の幼虫を採集しています。



炭酸ガスライトトラップ
(蚊成虫採集用)



オビトラップ
(蚊幼虫・卵採集用)



ヒシャク、ピペット
(幼虫採集用)

検疫措置訓練

平良出張所張所では、下地島空港国際線ターミナルにおいて保健所、消防本部、病院及び空港関係機関等との連携の上、感染症の国内侵入を防止するため、各関係機関との連絡体制及び協力体制について、訓練を実施し確認しました。

● 総合訓練

下地島空港に着陸する国際線チャーター便で鳥インフルエンザ疑い患者が発生した場合を想定し、下地島空港の検疫検査場及び健康相談室で要観察例に該当する乗客の発見したと想定して、沖縄県宮古保健所及び宮古島市消防本部と連携し、制限区域に患者搬送車を乗り入れて、搬送訓練を行っています。



検疫ブースで発熱者を発見



聴き取りの結果、要観察例であった。



要観察例の患者を搬送



搬送車で空港の制限区域外へ